



ネットワーク大津 第31号



陽気に満ちた春となりましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。今季は昨年末の強い寒波に見舞われたことで一部の麦に凍霜害が発生しておりました。また、年明けからしばらくは平年より高い気温を推移し温暖な気候となった為、農作物全体へ大きな影響があったと思います。

4月からはいよいよ農繁期の序章“赤カビ防除”が始まり、ドローンをはじめとした各農作業機械が動き出すこととなります。大きな事故なく円滑に表作へと移れるよう励んで参りますのでよろしく願いいたします。

ネットワーク大津(株) 1、2、3月の主な行事

1/6	仕事始め・窪田阿蘇神社にて新年参拝	2/19	上期監査
1/6	令和6年産 表作農作業委託申込書等配布	2/21	麦踏み体験(開催中止)
2/1	確定申告等添付証明書の郵送	3/14	試験報告会
2/1	畦塗開始 3/13 終了	3/19	オペレーター安全講習会
2/4	大豆単収の向上に関するシンポジウム参加	3/20~25	マルチコンパクター入れ替え作業
2/5	令和6年産大麦ワラ回収圃場調査書配布	3/26	TMR 原料保管庫・コンパクター確認検査
2/13	麦除草剤(2月頃)散布作業開始 2/16 終了		

視察研修受入れ

2/14: 福岡県久留米普及指導センター 2/15: ヤンマーアグリジャパン 3/13: 合志市認定農業者協議会
定例取締役会: 主な内容について

1/6: 協議事項 令和7年産大豆「そらみのり」取り組みについて

令和7年産作付けより、「そらみのり」への全面転化を実施することについて協議し、出席取締役全員賛成で承認・可決されました。

2/5: 協議事項 就業規則の一部改定 及び 介護休業規程の追加について

上記の内容について協議し、出席取締役全員賛成で承認・可決されました。

3/5: 協議事項 第1号議案 固定資産の導入計画及び処分について

自脱コンバイン4台、乗用管理機1台、作業機5台を処分することについて協議し、出席取締役全員賛成で承認・可決されました。

協議事項 第2号議案 賃金規定の改定について

機械整備の費用削減を目的に整備資格を有する者を当社委託により機械の整備・点検を依頼しオペレーター賃金にて対価を支払うことを協議し、出席取締役全員賛成で承認・可決されました。この規定は、令和6年4月1日より実施します。

3/14: 水田湛水事業に係る打合せ

飼料用米(SGS)収穫後の水張りを個人で申請してしまうと、本社での把握が困難となり収穫の作業計画が立てにくい現状です。また、収穫作業を急いで欲しいとの要望が出ると考えられます。

打合せの結果、一旦水張りを行う意思、水張りの期間を構成員に聞き取り、状況の把握を行いネットワーク大津(株)で飼料用米後の10/1~10/31の期間で申込みます。

令和5年度試験報告会開催



粒により選別時に不適合となるものが多く、振興局曰く、登熟期等の干ばつが主な要因として挙げられました。昨年泗水地域では、対策として試験的に畝間灌水を行い子実の品質低下を防ぐ取り組みを行ったようです。かなり温暖な気候となった今回の麦においては、専門家も予測がつかない事態となっており、何かを行うことで対策を取れるような状況ではないとのこと。現状の気候を踏まえた麦の作業適期見直しも含め、温暖化による過繁茂の傾向と対策を知る為には施肥試験等を行っていくしかなく、今後検討していくとの言葉を頂きました。

3月14日に本社会議棟にて令和5年度に取り組んだ試験の報告会を開催しました。報告内容は大豆のそらみのり栽培・収量実績をはじめ、播種時期・栽培地域によるフクユタカの収量調査、水稻からは苗箱まかせの実績自動運転田植機の実証試験を社員が報告し、それぞれ質疑応答が行われました。今回JAや県の振興局職員の方々にもご出席いただき、大豆や麦の品質低下による歩留り率の要因や対策について、見解を頂きました。JAより近年の大豆は子実の乾燥(水分量11%程)による割れや扁平(へんぺい)

TMR事業報告

TMRセンター南側に原料保管庫が完成し、TMRの原料となる豆腐粕・豆乳粕の10tトラック等による搬入が簡素化されることで、作業効率が向上する予定です。また、3月まで製造に使用していたマルチコンパクターが農研機構から借りている機械であり、対応年数も経過していたことから、今回新たに導入を行いました。3月26日に保管庫共々確認検査立ち合いが完了し、運用を開始しています。

12月末時点での在庫数	
繁殖	64,496Kg
肥育	295,239Kg
搾乳	136,800Kg

	TMR(繁殖)		TMR(肥育)	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
1月	100,232 kg	56,256 kg	148,993 kg	193,913 kg
2月	101,799 kg	74,760 kg	174,253 kg	166,507 kg
3月	67,138 kg	100,164 kg	184,738 kg	211,098 kg
合計	269,169 kg	231,180 kg	507,984 kg	571,518 kg

	TMR(搾乳)		3ヵ月分合計	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
1月	56,149 kg	87,945 kg	305,374 kg	338,114 kg
2月	65,177 kg	81,655 kg	341,229 kg	322,922 kg
3月	127,779 kg	98,082 kg	379,655 kg	409,344 kg
合計	249,105 kg	267,682 kg	1,026,258 kg	1,070,380 kg



マルチコンパクター

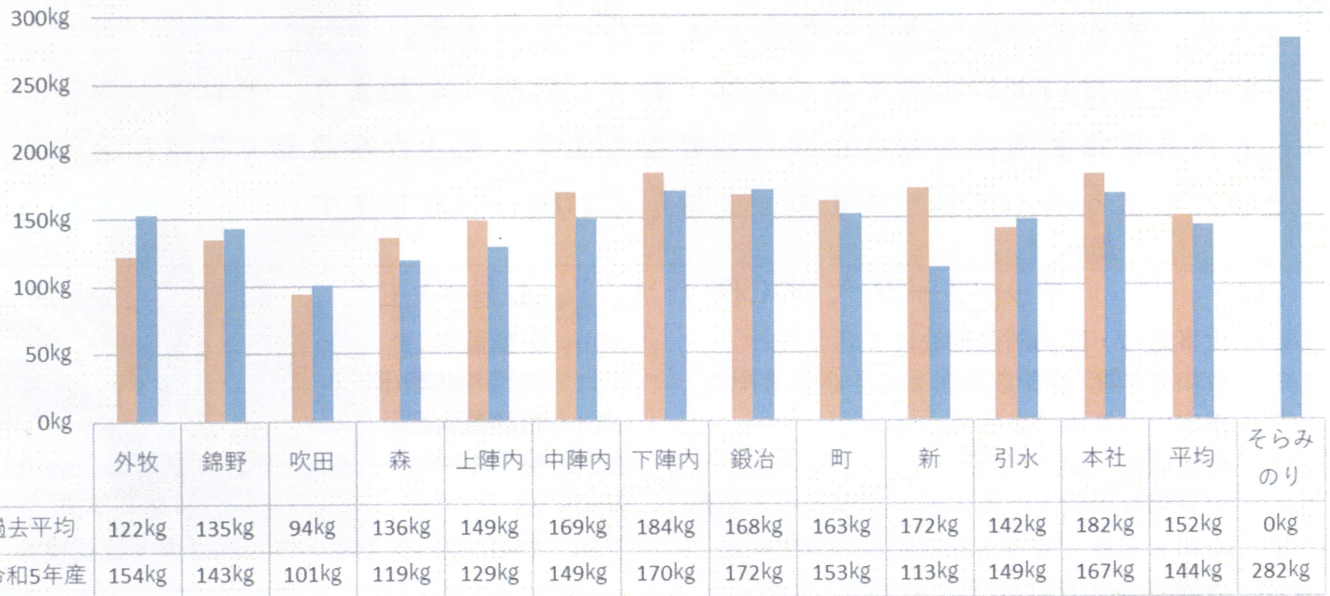


原料保管庫

令和5年産 大豆収量

10a当たりの大豆収量比較グラフ

■ 過去平均 ■ 令和5年産



平均値の考え方について

過去平均の数値は単純に「過去5年間の計÷5」で算出するのではなく、過去5年間の“最高値”と“最低値”を除いた「(5年間の計－最高値－最低値)÷3」の計算式で平均を算出します。

※この方法(トリム式)を用いることで平均値が統計内の極端な数値に影響されなくなるというメリットがあります。

過去5年間の大豆10a当たり収量

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	過去平均
外牧	190kg	119kg	156kg	73kg	92kg	122kg
錦野	181kg	123kg	176kg	105kg	92kg	135kg
吹田	84kg	94kg	179kg	105kg	67kg	94kg
森	191kg	114kg	169kg	126kg	78kg	136kg
上陣内	188kg	121kg	195kg	138kg	79kg	149kg
中陣内	193kg	168kg	209kg	147kg	102kg	169kg
下陣内	228kg	160kg	206kg	186kg	116kg	184kg
鍛冶	203kg	148kg	212kg	151kg	115kg	168kg
町	211kg	145kg	206kg	136kg	107kg	163kg
新	239kg	108kg	237kg	172kg	77kg	172kg
引水	190kg	88kg	196kg	135kg	101kg	142kg
本社	219kg	190kg	214kg	142kg	98kg	182kg
平均	193kg	127kg	196kg	135kg	96kg	152kg

令和5年産 大豆

H30~R4 トリム式

	重量 ①	作付面積 ②	作付面積 (ha換算)	10a当り ①/②*1000
外牧	6,415kg	41,790 m ²	4.2 ha	154 kg
錦野	20,374kg	142,696 m ²	14.3 ha	143 kg
吹田	2,951kg	29,306 m ²	2.9 ha	101 kg
森	11,136kg	93,958 m ²	9.4 ha	119 kg
上陣内	18,204kg	141,616 m ²	14.2 ha	129 kg
中陣内	9,684kg	64,847 m ²	6.5 ha	149 kg
下陣内	11,380kg	66,976 m ²	6.7 ha	170 kg
鍛冶	12,936kg	75,399 m ²	7.5 ha	172 kg
町	20,555kg	134,246 m ²	13.4 ha	153 kg
新	1,767kg	15,570 m ²	1.6 ha	113 kg
引水	25,397kg	170,987 m ²	17.1 ha	149 kg
本社	2,166kg	12,940 m ²	1.3 ha	167 kg
計	142,965kg	990,331 m ²	99.0 ha	平均 144 kg
そらみのり	13,320kg	47,159 m ²	4.7 ha	282 kg

麦の管理作業について

1月から2月にかけて気温が平年よりかなり高く温暖な気候であったことで、麦の初期成育に影響が出ていることを確認しております。特に小麦の生育速度が平年より早い事態となり、2月初旬には麦踏み
の適期限度を迎えようとしていました。その為、麦踏み2回目を早期に完了させる必要があり、本社でも作業計画の前倒しを行う等の対応を行いました。また、除草剤散布作業においては、大麦への散布可能限度時期を迎えてはいたものの、肝心の雑草があまり発生していない圃場があったことで作業開始の見極めに集落取締役も含め苦悩しました。次年以降、暖冬が予測されている場合等においては今回の生育状況を踏まえ、作業適期の見極めをしっかりと行えるよう努めて参ります。



小麦 節間長
20mm 程度



各管理作業限度目安

麦踏み：節間長 20mm・草丈 250mm 程度まで

→適期を過ぎた麦踏みは幼穂や茎を痛め、収量減や倒伏に繋がります。

除草剤(2月頃) ※ハーモニー-DFの場合

小麦：概ね節間伸長～穂ばらみまで 大麦：節間伸長前まで

→メーカーが上記までの期間でしか試験を行っていない為、記載時期を過ぎた場合の薬害等が起こるかは“不明”とのことです。

今後の予定

毎月 第1月曜日 定例取締役会

4月より耕種部門勤務体系変更 ※TMR・管理部は通常営業

- 4/9 補助員安全講習会
- 4月上旬 麦の赤カビ防除開始
- 4月中旬 作業委託管理費の支払い(大豆精算)
- 5月上旬 令和6年度 作業員オペレーター登録書の配布
- 5月中旬 作業委託管理費の支払い(産地資金精算)
- 5月中旬 大麦刈り取り開始予定
- 5月中旬 小麦刈り取り開始予定
- 6/3頃～ 水稻苗出荷開始予定(株熊本野菜育苗センター)
- 6月中旬 田植え開始予定
- 6月下旬 園児・児童参加による田植え体験

注意事項

水稻苗引渡しについて

改めてお伝えしたい注意点

- ・田植え後の苗箱は洗浄後にネットワーク大津へご返却をお願い致します。
※田植えを委託されている方の苗箱洗浄作業については、勤務作業扱いとなる為、タイムカードを打刻して下さい。

- ・苗の返品は受け付けず、返金等も行いません。

他詳細は別途通知書を5月頃に配布致しますのでご確認ください。



[お問い合わせ先] ネットワーク大津株式会社 熊本県菊池郡大津町陣内 427

TEL 096-285-4080 FAX 096-285-4909

HP <http://www.network-ozu.com>

発行責任者：徳永浩二

広報責任者：右田哲章